

まると台湾フェア出演者等紹介

「ママ、ごはんまだ？」

舞台挨拶&トークショー

「環島」ミニ解説

エッセイスト・女優・歯科医。父親が台湾人で幼少期は台湾で暮らした。日台の架け橋となるような文化交流活動に力を入れ、台南市親善大使及び石川県中能登町観光大使を務める。著書『私の箱子(シャングス)』『ママ、ごはんまだ?』を原作にした日台合作映画が昨年、日本と台湾で公開された。最新作は『「環島」ぐるっと台湾一周の旅』。趣味はサイクリング。台湾環島を2度経験し、日本での環島普及を進めている。四国一周サイクリングPR大使でもある。



ひとと たえ
トーク・解説：一青 妙

自然の匠・先人の知恵
「風の吹く島 澎湖島」



かたぎ ゆういち
講師：片木 裕一

法政大学卒業後、金融関係の会社に24年勤務、その後、台湾専門の旅行会社を運営し、現在は不動産会社経営。澎湖島は、8年前に台湾研修ツアーの企画で初めて訪れ、台湾本島とは違った自然・歴史・文化などに魅了される。日本の代表的な女性誌の台湾・澎湖島特集の取材をアレンジするなど、澎湖島のエキスパート。

「花蓮の魅力について」



ふじかし ひろこ
講師：藤樫 寛子

神奈川県出身。玉川大学文学部外国語学科英語専攻卒業後、台湾国立師範大学国語中心に留学。台北の出版社勤務を経て2012年に花蓮へ移住。2014年に多摩川文化事業有限公司を立ち上げ、花蓮県第三級史跡の吉安慶修院の秘書を務める傍ら台湾の東海岸花蓮・台東にて文化交流イベントの主催や通訳、日本のテレビ番組・雑誌のコーディネートをしている。

台湾のアニメーションを見よう
台湾アニカップ^{いなる}特別上映会 in 杉並 (解説：稲見 公仁子^{くにこ} 台湾映画研究家)

日本で生まれたインディーズアニメの国別対抗戦“CGアニカップ”。台湾チームは2012年からCGアニカップに参加し、2014年から「台湾アニカップ」が台湾未来映像発展協会により台湾で開催されるようになりました。今回上映するのは、過去のアニカップ台湾チームの作品から選りすぐった魅力的な15本。ファンタジーやコメディ、スリラーなどさまざまなタッチで、さまざまなテーマに挑んでいます。アニメ制作会社の数では日本一の杉並区で、台湾の若者たちの意欲に満ちたアニメーションを楽しみましょう！

